

■活動の目的・概要

○宮上中学校区の学校運営協議会と連携を図りながら学校支援体制を確立する。

○「地域運営学校」としての取組を充実させ、保護者・地域の教育力を発揮しながら、協働した学校運営を推進する。

学校運営協議会

(下部組織として)

5 委員会

【学力向上委員会】【学校図書館推進委員会】

【放課後見守り委員会】【地区班担当委員会】

【学校林活用推進委員会】

■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会の活動内容

主に学校運営承認機関としての役割を果たし、平成27年度から学校運営協議会に下部組織として4つの委員会を設置し、平成28年度には、さらに1委員会を加え活動している。

学期に1回、拡大学校運営協議会を開催し、保護者・地域・関係機関と学校とが協働して、児童の健全育成に取り組む仕組みづくりにより、学校運営協議会を軸に「地域運営学校」としての運営力が確実に発揮されている。

- (1) 学 力 向 上 委 員 会：平成25年度に「放課後算数教室」(通称・下柚木道場)を開始。3年生以上の入門希望児童(対象児童の約20%)が、東京都ベーシック・ドリルを活用して学習している。また、授業時間にも保護者や地域からボランティア支援を募り進めている。
- (2) 学校図書館推進委員会：毎週金曜日、朝の読み聞かせ(全学年)、学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動とする。平成29年度からは、休み時間にも読み聞かせを行い、毎回、約3分の1の児童が参加している。
- (3) 放課後見守り委員会：主に放課後子ども教室の企画・運営に携わり、委員の人選等も行っている。域や施設使用団体、近隣中学校とも連携し、同時間帯に催し等を実施している。
- (4) 地区班担当委員会：各地区の担当者(保護者)と学校とが意見交換をして課題解決に当たっている。拡大学校運営協議会の回を重ね、PDCAが機能してきたため、円滑な運営につながっている。
- (5) 学校林活用推進委員会：八王子市都市公園指定管理者等の支援の下、講師やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用した学習を進めている。特に5年生は、環境学習の観点から、学校林の自然観察を行い、森林保全についてレクチャーを受けるなどの体験的環境学習を実施している。

左から、下柚木道場
朝の読み聞かせ
学校林学習活動 風景

